

～都に鄙に、また山に～  
郵便局を旅する地域活性マガジン

# 散歩人

SANPOJIN  
3月号 vol.14

豊かな食材に魅かれて  
海沿いをぐるり 山口

局長さんご推薦！  
お取り寄せの逸品  
全国産品プレゼント（山口県）

わたしと手紙  
向井亜紀さん



# contents

散歩人 | vol.14 | Mar. 2012

〈特集〉

## 2 豊かな食材に魅かれて 海沿いをぐるり 山口

懐深い日本海と、風光明媚な瀬戸内海。  
二つの海にいだかれ、  
海岸線ごとに興味尽きぬ表情をみせる山口。  
瀬戸内から日本海へ。食と波の音に魅せられて旅しました。

わたしと手紙

## 8 向井亜紀さん

10 郵便局のあるまちをたずねて  
山口県山口市、宇部市、周南市

## 15 座右宝 より素敵に生きるために 花咲 宏基さん

局長さんご推薦！

16 お取り寄せの逸品  
全国産品プレゼント(山口県)

〈緊急特集〉  
19 あしたの風にのせて

20 切手で訪ねるふるさとの旅

22 川柳「二匹目のどぜう」

24 読者のみなさんから／コラム「龍の鱗」

25 バンコク雑記帳／読者プレゼント



表紙:SLやまぐち号(山口県) 撮影:吉永昂弘

「貴婦人」の愛称で親しまれるC57形蒸気機関車が新山口～津和野区間を牽引。5両編成のレトロ客車は、各車両ごとに「展望車風・欧風・昭和風・明治風・大正風」といったデザインアレンジがなされ、復活運転から20年以上たっても大人気。2012年は3/24～11/17の毎土日、GW、お盆期間など84日間運行。運行日・運賃・時刻表など詳しくは山口線SL運行対策協議会 (tel083-933-3170)、<http://www.c571.jp/>

「何もしない」という贅沢に身をゆだねる

# 小屋場 只只

ただただ

視界いっぱい伸びる水平線へ沈む夕日。一条の月光が海原を照らし、ときおり天に降る星のきらめき。波の音すら聞こえず、あるのは静寂、また静寂。瀬戸内・徳山の沖合にある大津島。その高台にたえず宿で体感する大自然との対話。(時)の大切さに思いを巡らせずにはいられません。



ところ/山口県周南市大津島西田浦2763  
電話/0834-85-2800  
料金/平日34,000円～、金土日・休前日38,000円～ (1泊2食付き1名)。  
1日1組限定  
交通/JR徳山駅から徒歩5分の徳山港から船で約20～30分 港からはスタッフがイギリス軍用車として試作されたミニモックで送迎

大津島には、太平洋戦争末期、「天を回らし、戦局を逆転させる」という思いで実施され、多くの若い命が散華した人間魚雷回天の基地があった。水本雄二オーナーは11年前、生死をさまよう大手術を終えたとき、回天に尽くした若者たちの生き方に出会い、「それまでの自己中心的な自分の生き方と真反対な、男たちの生き方に泣いた」。若者の死の重さを全国に発信しようとしたのが、この宿をはじめたきっかけだと静かに語る。前方の島から突き出たのが回天の基地跡



大津島産の御影石をくり抜き、鉄釜を沈めた露天の五右衛門風呂からも瀬戸内の絶景を一望。部屋にはガラス張りのバスルームもある



島で水揚げされたばかりの魚介が並ぶ夕食



ご飯はかまどで炊く。おかげも、おいしい



瀬戸内が一望の中に収まるテラスでいただく朝食。質実だが、食材はすべて厳選された地元産。大きく深呼吸して、ゆったりと味わいたい

旧秋田商会ビル  
 大正4年(1915)、商社と海運業を営む秋田商会の事務所として建てられました。鉄筋コンクリート造、地上3階地下1階。屋上には日本庭園と茶室があり、1階は洋風の事務所、2・3階は書院造住宅が当時の姿をとどめています。内部見学も可(無料)。現在は下関観光情報センターとして活躍しています。



ところ/山口県下関市南部町23-11  
 交通/JR下関駅から徒歩バス唐戸下車すぐ

記念館は、木造を模した鉄筋コンクリート造。本瓦葺の建築様式。波風の下の飾り・懸魚(げぎよ)の意匠などが評価され、平成23年(2011)国登録有形文化財に



### 日清講和記念館

明治28年(1895)に締結された日清講和条約(下関条約)の歴史を後世に伝えるため、昭和12年(1937)、講和会議の舞台となった春帆楼の隣接地に建てられました。  
 当時使用された椅子を用いて、会議の部屋を再現。両国全権の伊藤博文、李鴻章の遺墨などが展示されています。



ところ/山口県下関市阿弥陀町4-2  
 電話/083-223-7181  
 営業時間/食事11:00~14:00、17:00~21:00(無休) 宿泊チェックイン15:00~、チェックアウト~10:00  
 交通/JR下関駅から徒歩バス赤間神宮前徒歩1分

## レトロ建築をめぐる

### 旧殿居郵便局

大正12年(1923)竣工。木造平屋建に八角の銅板葺屋根が乗った2階塔屋付き。殿居郵便局に隣接しており、局に声をかければ見学可能。約30年前まで現役局舎として活躍。同局は明治35年(1902)開局。2代目の河田寛局長が改築しました。山口県指定文化財。

ところ/山口県下関市豊田町殿居1-11-2  
 交通/小月1Cから徒歩45分



同局中庭にある郵便局の木。タラヨウの葉の裏が黒く残ることから、古代インドで手紙に用いたとされ、「葉書の木」ともいわれている



### 下関南部町郵便局

レンガ造、2階建てのフレンチ・ルネサンス様式。下関で最も古い洋風建築であり、現役で活躍する日本最古の郵便局舎です。明治33年(1900)の建設。カフェが併設されているのも珍しい。中庭ではウェディングパーティーなども。国登録有形文化財。



局舎内で、石丸潔局長

ところ/山口県下関市南部町22-8  
 交通/JR下関駅から徒歩バス唐戸下車すぐ



薄造り、ちり鍋はじめ、ふく白子蒸し、から揚げなどがつくコースは23,100円〜。菊盛りが目にも美しい

### 春帆楼

ふく料理発祥の老舗

下関では「福」に通じることから、ふくを「ふく」と呼びならわすとか。関門海峡を見下ろす高台に建つ老舗割烹旅館は近代ふく料理発祥の店。当時ご禁制だったふくを明治の元勲・伊藤博文が同店で食べ、そのあまりの美味しさに山口県知事に命じ、明治21年(1888)公許への道を開いたといわれています。旨みを引き出すために一晩しめた最上級のとらふく。薄造り、ちり鍋、雑炊。上品な味わい、歯ごたえが忘れられない逸品です。



右/関門海峡の流れを見ながら、ゆったりとくつろげる個室でふくを堪能。左/異国情緒たっぷりの長壁が迎えてくれるエントランス。一部に明治期の遺構が残る。敷地内には日清講和記念館が建つ



## 角島大橋

山口県の北西端に位置する角島と本州を結ぶ、全長1780m。開通は平成12年(2000)。北長門海岸国定公園に含まれることから橋脚の高さを抑え、周囲の景観に配慮したつくりとなっている。島の北西にある角島灯台は明治9年(1876)初点灯、今も現役。

JR滝部駅からバスで約40分



# MARU

食材の宝庫・萩の魅力を存分に

萩は食材の宝庫。鮮度抜群の刺身の数々、ブランド品である見蘭牛やむつみ豚など、萩の特産品が存分に味わえます。あくまでも素材のよさを活かした創作料理が同店の信条。地元の蔵元の酒だけを置

「萩の蔵元うでだめしセット」(1000円)。福娘、東洋美人、長門峡、宝船、八千代の5銘柄と、MARU本日のおすすめ。萩焼の皿に萩ガラスの猪口で。微妙な味わいの違いにワクワク



右／金太郎のオイルルージュ(500円)。萩では昔から親しまれてきた小魚はさっぱり味上「見蘭牛のにぎりずし」(6貫1000円)の旨さは絶品。また「見蘭牛のもつ煮込み」(550円)は人気メニューのひとつ。左／小祝敦オーナー



き、萩の「食」がまるごと楽しめる、イキのいい名店です。店を構えて約20年。地元の人はもちろん、観光客のリピーターも多く、週末は予約がとれない店として大人気です。

ところ／山口県萩市吉田町78番地  
電話／0838-2615060  
営業時間／17:00～22:30  
(日・祝日休む)  
交通／JR東萩駅から徒歩15分

食べればわかる新鮮さ。[刺身盛り合わせ8点盛](3150円)。手前左から瀬アジ、本マグロ、甘ダイ、ヒラマサ、ウニ、真フグ、金太郎、アワビ

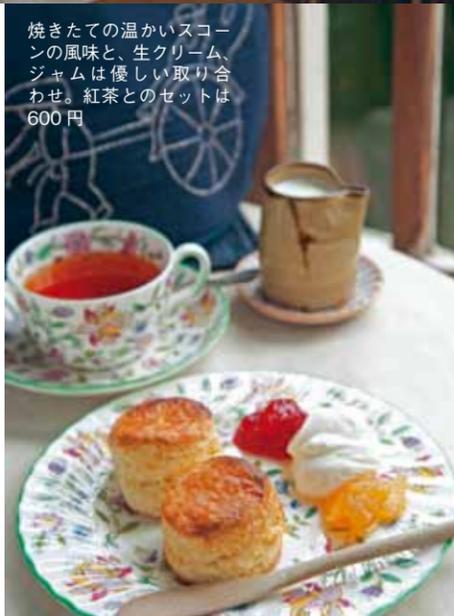
## 古民家に息づくギャラリー&ティールーム 俣宿天十平

萩の清閑な一角に建つ築150年の古民家。敷石づたいに進み、縁側から上がる畳敷きのギャラリーです。1点もののバッグ、帽子からアクセサリー、そして萩焼まで。オーナー中原万里さんが自ら選んだ個性的な品々が並びます。棟続きとなる大正時代の洋館は、手作りスコーンと香りたつ紅茶を味わえるティールームです。



90年前のイギリス・アンティーク家具が配されたティールーム。窓から差し込む柔らかな光、心やすらぐ音楽とともに豊饒な空間を演出

ところ／山口県萩市南古萩町33-5  
電話／0838-26-6474  
営業時間／10:00～18:00(冬季は17:30まで)、水曜休  
交通／JR東萩駅からバス萩美術館前徒歩3分



焼きたての温かいスコーンの風味と、生クリーム、ジャムは優しい取り合わせ。紅茶とのセットは600円



ご主人省吾さんが引く人力車の待合場になればという思いから、同店は始まった。音楽会や個展などの催しにも意欲的



## 菊屋横丁

日本最古級の民家である菊屋家住宅、高杉晋作誕生地などが点在する、趣ある通り。なまこ壁や白壁が続き、日本の道百選に選ばれている